ロゴ 60P 隅田真悠

写友会便り

NO.12

号

発行日：令和４年３月３日
発行者：大阪市立工芸高等学校内　写友会
大阪市阿倍野区文の里１－７－２
０６－６６２３－０４６２

すべては自分次第・君たち次第！　がんばってください

映像デザイン科卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者、ご家族の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

皆さん、工芸高校の3年間はどうでしたか。充実した高校生活を送ることができましたか。さまざまな経験をした3年間だったと思います。特に新型コロナウイルスの感染拡大により、予想しない世の中になってしまいましたね。その間、学校生活はもちろん、本来3年生として華々しい活躍をし、希望の日々を送るはずだったのが、誰にもどこにもぶつけることのできない感情だけが募る日々に、苦しい思いや悔しい思いをしたのではないかと思うと心が痛みます。

ただ、今振り返れば、そんな前例のない手探りの中で、新しい取り組みや創意工夫した活動を実践し、自らの手で前例を作り出したこと、そんな思いをあらためて感じた時期でもあったのではないかと思います。そんな経験をした君たちは、新しいことにチャレンジした自信と当たり前のことに感謝できる心が備わり、大きく成長できたと思います。

また、当たり前の生活や当たり前の出来事が、実は当たり前ではないということに気づいたこと、当たり前に流れる日々の生活に感謝すること、そんな思いをあらためて感じた時期でもあったのではないかと思います。

これからの世界情勢や日本の社会情勢は、いろんなことが変わっていくでしょう。未だ日本社会として経験していないことも、今後起こってくるかもしれません。でも、決して負けないでください。ピンチなときほど、自分が成長できるチャンスだと思い、あたりまえのことに常に感謝できる豊かな人生を歩んでください。

こんな時代だからこそ、なおさら大きな夢を持って、そして夢を決意に変えて、自分の未来に突き進んでください。

高校の3年間は、今でも人生の中でとても濃い時間だったと感じます。皆さんはその充実した時間の積み重ねを自信に変え、これからも胸を張って生きていってください。今まで育ててくださったご両親に感謝し、ご指導くださった先生方の教えを胸に、自分らしさを存分に発揮して、これからの道を一歩一歩進んでいって欲しいと思います

ますますご活躍されることを期待しております。

大阪市立工芸高等学校　写真工芸科十七期
写友会会長　杉野　譲

写友会とは、大阪市立工芸高等学校の写真工芸科(1957～1992) 映像デザイン科(1993～)卒業生と職員・旧職員の皆さんで構成される同窓会組織です。本日ご卒業される皆さんは、いよいよ私たち写友会の仲間となります！『写真・映像を通じて母校の発展と社会貢献に寄与することを目的としています。(写友会ホームページより抜粋)』とありますが、中心メンバーには写真・映像のプロも居れば、映像とは全く別の分野で活躍されている方もたくさんいます。

大阪市立工芸高等学校
写真工芸科・映像デザイン科同窓会
写友会
kogei-syayukai.com

今年度も皆さんとお会いする機会はずいぶん少なくなってしまいましたが、写友会では、プロの目線で選考する工芸展での写友会アワードや、ロータリークラブとの交流等、実社会との繋がりを体験していただくことで、在校生の皆さんの支えになる活動を目指してまいりました。

これからも、かわいい後輩たちの応援をしながら、写真・映像の事でも、それ以外のいろんな事でも、お互い助け合える仲間になれればと思っています。

来年度から大阪府立になるけれど、せっかく同じ学舎で日々を過ごして来たのだから、卒業して終わりじゃもったいない！卒業生の皆さんとご一緒できることを、写友会一同楽しみにしております！

45 期(2004 年卒)**ながいゆい**さんは、心斎橋や梅田の百貨店で度々イベントが開かれる『ことり男子』が大人気のイラストレーターです。写友会のために描きおろしてくださった工芸高校の制服を着たことり男子は、在校生応援プログラムのグッズにもデザインされています。

大阪市立工芸高校の最後の卒業生へ

映像デザイン科の六十三期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！

みなさんが過ごしてきた高校生活の3年間、毎日のお弁当や洗濯物など何気ない日常を不自由なく支えてくれた保護者の方々に先ずは感謝して頂きたいと思います。

これからはそれぞれの道で新しい世界への期待や不安、様々な未経験なことがあるかと思いますが、その道はひとりだけじゃなく、そこには工芸の先輩たちが通った道が必ずあります。先輩たちは様々なところで、カメラマンやVTR・CGの映像クリエイターに留まらず、漫画家や声優、キャラクターデザイナーなど多方面でその才能を発揮しています。

また映像デザイン科同窓会の「写友会」があります。新生活がスタートしてしばらくは余裕もないとは思いますが、「写友会」に参加し後輩たちに指導や経験を伝えるだけじゃなく、悩むことがあれば先輩方に遠慮なく、いろんな相談をしてください！そこには「工芸会」「写友会」という大きな家族があり、卒業後に時が経つほどにつながりが増えてくるオモシロい集まりです(笑)。

それから、皆さんが大阪市立工芸高校の最後の卒業生です。来年度より大阪府立に変わります。

新型コロナウイルス感染症拡大により生活様式が変わり、みなさんも学校行事などさまざまな場面で自粛制限や学校行事の中止などの影響を受け、進学や就職にも大変苦労されたことと思いますが、この想像もできなかった状況の中、工芸で学んだこと、友達との絆は、きっとこれからの人生で大切なものになるはずです。

これからの新生活、前途洋々たる未来に幸多きことを祈ります！

末筆ながら保護者の皆様、お子様のご卒業に謹んでお祝いを申し上げます。

大阪市立工芸高等学校　写真工芸科二十三期
写友会副会長　田浦真一

《写友会×在校生サポート事業報告》

2021.9.30(木)

大阪東ロータリークラブ様より大阪市立工芸高校 映像デザイン科へデジタル一眼レフカメラ・レンズセットを3セットご寄付いただき、大阪東ロータリークラブ会長、役員の方々より校長先生への贈呈が行われました。

いただいた機材は実習授業に有効的に活用させていただきます。ご支援ありがとうございました。

2021.11.17(水)

大阪東ロータリークラブ主催の、海外留学生による日本語スピーチコンテスト会場にて、映像デザイン科生徒による撮影を行いました。大阪東ロータリークラブ様より寄贈された3台のカメラも使用しての撮影でした。

またオープニングムービーも事前に生徒達により作成。最後まで積極的な撮影が行われました。

コンテスト終了後は海外留学生達と交流が行われ、有意義な現場体験でした。

2021.12.11(土)

大阪東ロータリークラブ写真部と在校生、写友会により工芸高校スタジオにてモデル撮影の交流会イベントを開催。講師として写友会からふたりの現役カメラマン、友田富造さんと杉野 譲さんに来ていただきました。

大阪東ロータリークラブ写真部の皆さんと在校生との撮影交流を通して、それぞれ貴重な体験ができたとの感想をいただきました。

２０２２年1月２９日(土)と３０日(日)、第７４回工芸高校展が入場者を制限して開催されました。毎年映像デザイン科の学生作品を対象に、プロの現場でご活躍されている写友会会員より選出した審査員と、工芸会会長の中西 州さんとが選考する「写友会アワード」。今年度も審査から表彰まで生徒の皆さんのお顔を見られないままになってしまい、とても寂しく残念でした。
しかし、今回も個性的な作品が数多くあり、私たちも刺激をたくさんもらうことができました。このアワードが、少しでも皆さんの作品制作の励みになっていればと会員一同願っています。

各部門賞については、以下のとおりです。

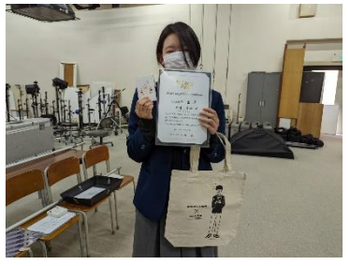
写友会アワード2022

◇写真部門
金賞　３年　隅田　真希　「踊り場」
銀賞　３年　荒谷　実優　「うごめいた体内感覚」　ほか
銅賞　３年　鈴木　佑典　「めじごちごぼぼにちぢむぶとにぢぢがあとみ」　ほか

◇映像部門
金賞　３年　山本　悠晟・知念　直孝　　「君を忘れる、君が忘れる」
銀賞　３年　炭井　逸暉・濱口　昌太・福島　大智　「ファーリーファンダム」
銅賞　３年　竹田　奈津　「ワールドトリガー実写版[予告編]」

◇CG 部門
金賞　３年　中﨑　美羽　３DCG　「C１２６６」
銀賞　３年　中野　桜子　ブックレット　「GAP 小田加奈子」
銅賞　２年　井上　将宏　DVD パッケージ　「就職奮闘記」

◇工芸会長賞
３年　吉原　壮　「Zoological」



◇奨励賞　全て１年
森下　紗羽　　組み「蒼い街」
北添　琴子　　組み「追憶」
是永　愛　　組み「時代」
税所　みく　　組み「放課後」
沓水　珠乃　　組み「ポツン」